



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	28,606.31	112.11	0.39	0.07	0.24	28,538.44
NASDAQ	11,671.56	-42.31	-0.36	0.79	30.08	8,972.60
日経225	23,410.63	-96.60	-0.41	-0.89	-1.04	23,656.62
上海総合	3,336.36	4.18	0.13	1.96	9.38	3,050.12
滬深300(GSI300)	4,791.68	-7.06	-0.15	2.36	16.97	4,096.58
ハンセン	24,386.79	228.25	0.94	1.11	-13.49	28,189.75
中国企業	9,914.90	152.62	1.56	3.09	-11.22	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.1%高と3週続伸、上海総合指数は2.0%高

香港市場は13日が台風のため休場となり4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.1%高と3週続伸した。習近平国家主席が深セン市の経済特区創設40周年を祝う式典に出席すると伝わり、週初は政策期待から買いが先行。その後、米務省がアント・グループへの制裁を提案したと報じられ、米中対立の激化懸念が相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で2.0%高と続伸。政策期待を背景に買われる展開となり、上海総合指数は12日に節目の3300ポイント台を回復。約1カ月半ぶり高値をつけた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、米中対立激化の懸念くすぶる公算

香港市場は上値の重い展開か。26-29日に中国共産党の5中全会が開かれるのを前に政策期待が高まっていることはプラス材料だが、米中対立の激化に対する警戒感がくすぶるなか、24日からの3連休入りを前にリスク回避の売りが出やすくなりそうだ。ハンセン指数は9月16日につけた直近高値の24829ポイント付近が上値の目処として意識される可能性がある。一方、本土市場はしっかりの展開か。政策期待が高まっていることに加え、企業の7-9月期決算の業績上振れに対する期待も相場の支援材料となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国建設銀行(00939)	5.56	10.76
2 小米集団(01810)	23.15	10.50
3 中国工商銀行(01398)	4.42	10.22
4 中国銀行(03988)	2.56	7.11
5 チャイナ・ユニコム(00762)	5.33	6.18
6 交通銀行(03328)	4.00	5.54
7 吉利汽車(00175)	16.40	3.80
8 中国平安保険(02318)	83.45	3.28
9 テンセント(00700)	557.00	3.24
10 中国人寿保険(02628)	18.50	3.01

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	7.95	-6.14
2 石業集団(01093)	9.20	-6.00
3 シバック(00386)	3.01	-5.05
4 CNOOC(00883)	7.28	-4.84
5 HSBC(00005)	30.15	-4.13
6 恒隆地産(00101)	19.62	-3.82
7 サズ・チャイナ(01928)	27.30	-3.70
8 碧桂園(02007)	9.62	-3.41
9 ベトロチャイナ(00857)	2.20	-3.08
10 ハンセン銀行(00011)	113.70	-3.07

▼今週の主なイベント

- 10月20日(火)
- 【中国】70都市不動産価格(9月)
- 【中国】最優遇貸出金利
- 【香港】失業率(7-9月)

▼今週の期待材料

- ◆10月26-29日に中国共産党が5中全会を開催、第14次5カ年計画と35年までの長期目標について審議
- ◆9月の鉱工業生産が6.9%増加、市場予想の5.8%増を上回り19年12月以来の高い伸びに
- ◆中国政府が2060年までに二酸化炭素排出実質ゼロの目標を設定、環境関連銘柄への物色続く公算

▼今週の懸念材料

- ◆香港市場は24日から3連休、連休入りを前に週末にかけてリスク回避の売りが強まる可能性も
- ◆中国政府が軍事転用可能なハイテク製品の輸出を規制する法案を制定、米中対立がさらに激化する公算
- ◆7-9月期GDP成長率は市場予想の5.2%を下回る4.9%、景気の先行きに慎重な見方が広がる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 22日に7-9月期決算を発表、市場予想は7%増益
- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 21日に7-9月中間決算を発表、市場予想は19%増益
- ☆ BYD (01211) : 中国が60年にCO2排出実質ゼロ実現へ、EV販売拡大に期待高まる
- ☆ 中国太平保険 (00966) : 子会社3社の1-9月の保険料収入が3%増加
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 9月の石炭販売量が9%増加、発電量は5%増
- ☆ 高キン零售 (06808) : アリババ集団が株式72%を取得、TOB実施で連結子会社化
- ★ 中国東方航空 (00670) : 9月の旅客数が14%減少、貨物輸送量は21%減
- ★ 六福集団 (00590) : 7-9月期の既存店売上高が新型コロナの影響で55%減少
- ★ ジョルダノー (00709) : 7-9月の売上高が31%減少、既存店売上高は25%減
- ★ 長城汽車 (02333) : 23日に7-9月期決算を発表、市場予想は34%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。